



## 鶴岡市は 森林資源の最大限の活用を目指し 木質バイオマスの熱利用を進めています

私たちの身の周りでは、多くの場面で”熱エネルギー”が使われています。

鶴岡市の森林資源から成る木質バイオマスは、化石燃料の代わりに、暖房・給湯・冷房・蒸気など、様々な熱源としてエネルギー利用することができます。

このリーフレットでは、鶴岡市の豊かな森林資源を活用した木質バイオマスの熱利用の取り組み、「地域内エコシステム」の構築に向けた取り組みについてご紹介します。

### 「地域内エコシステム」とは

地域内エコシステムとは、市町村レベルの小規模な木質バイオマスエネルギーの熱利用または熱電併給により、地域での森林資源を持続的に循環させる仕組みです。

この仕組みにより、“人づくり・地域づくり”をコンセプトとした地域の人々が主体となる地域活性化事業として、地域外への資金流出を防ぎ、地域の活性化・地域への利益還元を目指しています。

## 鶴岡市

### 木質バイオマス熱利用 推進のための取り組み

—地域内エコシステムの構築—

鶴岡市 農林水産部 農山漁村振興課

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町 9-25  
TEL：0235-35-0145（直通）

鶴岡市  
農林水産部 農山漁村振興課

令和5年10月

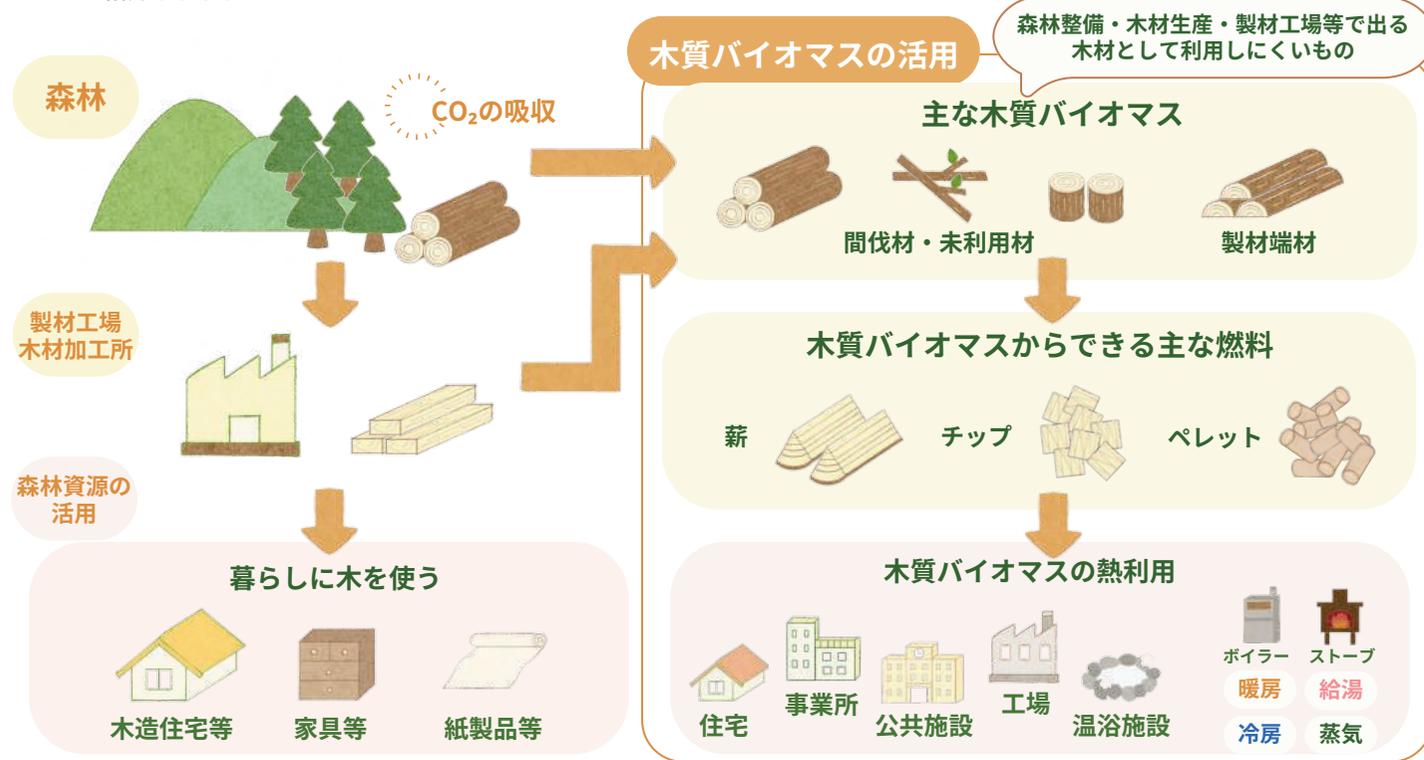
このリーフレットは、令和5年度「地域内エコシステム」モデル構築事業のうち実施計画策定支援（林野庁補助事業）において、一般社団法人日本森林技術協会が作成しました。

# 鶴岡市 木質バイオマス熱利用推進のための取り組み —地域内エコシステムの構築—

## 鶴岡市の森林資源を活用しよう

### 森林資源の最大限の活用に向けた木質バイオマスの熱利用

鶴岡市は森林が約7割を占める自然豊かな地域です。森林は、生物多様性や地球環境の保全、水源涵養などの多面的機能を持ち、私たちの生活を支えています。森林の機能を発揮するためには適切な森林整備と森林資源の活用が必要です。森林整備・木材生産・製材工場等では木材として利用しにくい森林資源が発生しますが、これらも無駄なく最大限活用することで、森林整備に寄与することが期待されます。このリーフレットでは、“木質バイオマス”を“熱エネルギー”として利用する木質バイオマスの熱利用について紹介します。



## 鶴岡市の取り組み

### 木質バイオマスの熱利用の推進

鶴岡市では、豊富な森林資源の最大限の活用と二酸化炭素排出量削減に向けて、木質バイオマスの熱利用を進めています。

令和2年には「SDGs未来都市」に選定され、令和3年に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、更なる木質バイオマスエネルギー利用の推進に取り組んでいます。また、これまで公共施設で薪・ペレットが利用されてきましたが、令和7年には鶴岡市で初となるチップボイラーの導入（朝日庁舎）を予定しています。

### 地域内エコシステムの構築

鶴岡市では令和3年度より、地域の森林資源を持続的に循環させる「地域内エコシステム」の構築に向けて取り組んでいます。

公共施設だけでなく、民間施設・ご家庭でも木質バイオマスを活用できるよう薪・チップ・ペレットの製造・販売体制の整備やボイラー・ストーブなどの再エネ設備導入支援を行っています。詳しくは市環境課（TEL：35-1247）までお問い合わせください。HPIは二次元コードよりアクセスしてください。



- H24 木質バイオマス利用開始  
→公共施設で薪・ペレット利用
  - R2 SDGs未来都市に選定
  - R3 ゼロカーボンシティ宣言  
地域内エコシステムの取組開始
  - R7 朝日庁舎チップボイラー導入
  - 更なる利用の推進
- 取り組み年表

## 木質バイオマスとは

### 地域の森林資源の無駄のない活用

「木質バイオマス（木材に由来する再生可能な資源）」とは、森林整備や木材生産・製材工場等での、木材として利用しにくい森林資源（間伐材や林地に放置された未利用材・製材端材等）のことです。木質バイオマスから成る薪・チップ・ペレットは、化石燃料の代わりにボイラー・ストーブの燃料として使用することができます。

地域の木質バイオマスの利用効果は多岐にわたります。地域の森林資源を、地域でエネルギー利用することで、“エネルギーの地産地消”が期待できます。

### 木質バイオマス熱利用の効果



## おわりに

### 鶴岡市の森林資源の活用による“地域活性化”

「地域内エコシステム」構築の最大の目的は“地域活性化”です。鶴岡市の森林資源の恩恵を地域関係者に還元できるよう、木質バイオマスの熱利用の普及に向けて引き続き取り組んでいきます。

